

キラロボットのない世界に向けた日本の役割を考える勉強会

日時:4月17日(火)午後5時-6時

場所:衆議院第一議員会館 地下一階 大会議室

キラロボット(殺傷ロボット)は、人間の介入・操作なしに攻撃目標を定め人を殺傷するAI兵器です。「自律型致死兵器システム(LAWS)」ともよばれます。まだ実戦投入されていませんが、米国・ロシア等十数カ国が開発中です。核兵器に次ぐ第三の兵器革命をもたらすと警告されるキラロボット。そんなキラロボットのない世界を目指し、実戦投入前に禁止条約を作ろうという国際的な動きが進んでいます。日本はどんな役割を果たすべきでしょうか？&



AAR Japanが配布しているキラロボット禁止キャンペーンの冊子。
国内でもNGOら市民による禁止を求める機運が高まっています。

式次第

1. 開会の言葉と問題提起(衆議院議員 遠山清彦)
2. キラロボットとは何か、キラロボットキャンペーンとは(難民を助ける会 理事長 長有紀枝)
3. キラロボットの問題点(法的側面)(ヒューマン・ライツ・ウォッチ 日本代表 土井香苗)
4. キラロボットの問題点(軍事面) (拓殖大学教授 佐藤丙午1&
5. 科学者からのメッセージ(ソニーコンピュータサイエンス研究所上級研究員、脳科学者 茂木健一郎) 他

主催:

○遠山清彦議員(公明党)、平井卓也議員(自民党)、小林史明議員(自民党)、山内康一議員(立憲民主党)、小熊慎司議員(希望の党)、遠藤敬議員(日本維新の会)

○認定NPO法人 難民を助ける会(AAR Japan)、国際人権NPO ヒューマン・ライツ・ウォッチ、認定NPO法人日本国際ボランティアセンター(JVC)、認定NPO法人ヒューマン・ライツ・ナウ(HRN)、特定非営利活動法人地雷廃絶日本キャンペーン(JCBL)

申し込み: <https://goo.gl/JS9BjV> *参加費無料・どなたでもご参加いただけます。

問い合わせ: ヒューマン・ライツ・ウォッチ東京オフィス Email: tokyo@hrw.org

